

Braintech Library Report

ブレインテック・ライブラリー・レポート

Vol.5



公益社団法人東京都看護協会 図書室

大学向けシステムからリプレイス
情報館はいろいろ設定変更できて楽しい

イエズス会聖三木図書館

OPACを図書館トップページとして利用
コロナ禍閉室中もWebを活用して情報提供

公益社団法人東京都看護協会 図書室

大学向けシステムからリプレイス 情報館はいろいろ設定変更できて楽しい

イエズス会聖三木図書館

JR 四ツ谷駅からほど近い聖イグナチオ教会の敷地内にあるイエズス会聖三木図書館は、日本では数少ないキリスト教の専門図書館です。図書館主任のヨノン様と飯田様にお話を伺いました。

カトリックを中心にキリスト教諸教派の 文献資料を 3 万 5 千冊所蔵

——キリスト教の専門図書館ということで、こちらは宗教法人が運営する図書館ということでしょうか。

はい。キリスト教について広く知ってもらおうという宣教活動の一環として、カトリックイエズス会が運営しています。聖三木図書館の前身は1949年に設立された「聖イグナチオ教会付属図書室」です。1953年に学校法人上智学院に移管され、1957年に上智大学内の上智会館2階に「聖三木文庫」（聖三木図書館）として入りました。2007年、建物の取り壊しや研究所の統廃合に伴ってイエズス会に管理運営が引継がれ、現在の地に移転、「イエズス会聖三木図書館」として現在に至っています。

聖三木図書館の館名は、1597年に長崎の西坂の丘で殉教した日本二十六聖人の一人であるイエズス会修道士、聖パウロ三木にちなんでつけられました。日本の文化的土壌にキリスト教の思想・文化を紹介し、東洋思想と西洋思想との対話を促すという創設からの理念にもとづいて資料を収集・公開しています。



——具体的にどのような資料を所蔵されていますか。

カトリックを中心にキリスト教諸教派の文献資料を和洋およそ3万5千冊所蔵しています。キリスト教に関連する資料には、聖書やキリスト教の教義、歴史、聖人伝、キリスト教諸教派についての資料の他、キリスト教思想家・実践家の著作やキリスト教作家の著作、キリスト教文化一般に関する資料などがあります。雑誌や新聞も、キリスト教諸教派のものを含めて置いてあります。また、キリスト教以外の宗教や思想に関する資料も一部収集しています。



全国からの問い合わせにも スタッフが協力しスピーディに対応

——書架を案内していただきましたが、いわゆる灰色文献のようなものが多いかと思いきや、一般に流通している資料も多く所蔵されているのが意外でした。どのような方が利用されるのでしょうか。

まずは図書館隣接の聖イグナチオ教会の信者さんが多いです。特に週末はミサの前後、また教会や上智大学で勉強会が開催されるとその参加者で閲覧室がいっぱいになります。それから他宗派の信者さんや聖職者、例えばプロテス



イエズス会聖三木図書館

〒102-0083

東京都千代田区麹町 6-5-1

岐部ホール2F

TEL : 03-3262-0364

<http://www.jesuits.or.jp/>

~j_seimikibun/

タントの牧師先生たちが、お説教の準備のために勉強に来られたりもします。また、論文を書くために資料を探しにくる学生さんもいらっしゃいます。あとはマスコミ関係者が番組や記事作成のために調べものに来られたり、作家さんがここで文献にあたったと著作のあとがきに書いてくださったこともありました。皆さん熱心で、館内では閲覧机の上にたくさん本を積んで勉強されています。

会員になると資料の貸出が受けられます。貸出は来館時のみ受け付けますが、返却は郵送でも大丈夫なので、遠方の方も借りていけます。

——全国に聖三木図書館のファンがいらっしゃるのですね。

そうですね。他の図書館にはない資料を多く所蔵しているので、全国から問い合わせがあります。うちのスタッフは反応が速いので、例えば私がこういう資料がないかと相談すると、すぐに誰かから返事が返ってきます。また、過去のレファレンスを蓄積して共有しています。



本稼働前のセミナーやトライアルで スムーズなシステムリプレイス

——2019年の秋に情報館を導入していただきました。

その前は上智大学と同じシステムを使っていたのですが、諸事情によりシステムの入替を検討することになりました。雑誌『専門図書館』の広告で情報館を知り、選定にあたってはブレインテックのWebサイトに載っている導入事例を参考にしました。ちょうど近くに情報館を使用している図書館があったので、実際に見学して、機能やサポートについてユーザーならではの意見を聞くことができました。また、図書館総合展で色々な図書館システムを見比べましたが、最終的に一番しっくりきた情報館に決めました。

——選んでいただいてありがとうございました。導入されていかがでしたか。

もともとの夏季休館に少し足して計2週間閉館しました。導入前のブレインテックとのデータ移行の打ち合わせでは、こんなに細かい内容まで決めなくてはいけなかったかと驚きました。時間もかかり大変でしたが、後から考えると必要な作業だったと思います。

稼働してからも、わからないことがあればいつでも電話で質問できるという安心感がありました。自分たちでやってみて、それでだめならいつでも電話で聞けるのはありがたいです。

また国立国会図書館サーチからの取込機能が使えるようになって、業務が楽になりました。それまではほとんどの書誌を自分たちで作成していたので、とても助かっています。

OPACに書影が出るのも利用者に好評です。利用者は自宅にいながらどんな資料があるか、それが実際に探している資料かどうかすぐわかります。タイトルだけでなく表紙の写真が大きく表示されるので、資料の特定がしやすいと、スタッフもOPACをよく使っています。



——情報館を積極的に使っていただけて嬉しいです。稼働は順調だったんですね。

本稼働の前にトライアル版を使っていたのと、情報館のセミナーに参加したのもよかったかもしれません。今度は雑誌のセミナーに参加しようと思っています。これまでは製本した時点で登録をしていましたが、各号からデータを入力し、キーワードも登録したいと思っています。

何事も自分たちでやってみるのが好き 情報館はいろいろ設定変更できて楽しい

——図書館のWebサイトに情報館のカレンダーを埋め込まれているのを拝見しました。FacebookなどSNSの発信もされていますね。こちらもご自分たちでされているとか。

そうなんです。ホームページ作成用のソフトを用いて作成しています。こういった作業が得意なスタッフがいるので。

情報館は自分たちでいろいろ設定を変えられるのが楽しいです。何事も自分たちでやってみるのが好きなので、あれがいいこれはどうかなど皆でわいわい話し合いながらやっています。情報館の操作についても、こんな技があるよと教えあったりして、助け合いながら覚えています。



図書館 TOP ページ

——図書館の皆さまがとても明るく朗らかでいらっしゃるのが印象的でした。前向きにどんどんやろうという姿勢も頼もしいです。本日はありがとうございました。



システム 構成	基本システム 4台、館内用 OPAC 1台 (ワークグループ) OPAC サービス (プレミアム版) (外部公開)
蔵書数	図書約3万5千冊、雑誌65タイトル、 製本雑誌約1千冊
導入年	2019年

データは2020年6月現在のものです

OPACを図書館トップページとして利用 コロナ禍閉室中もWebを活用して情報提供

公益社団法人東京都看護協会 図書室

公益社団法人東京都看護協会は、東京都に在住・在勤の看護職（保健師・助産師・看護師・准看護師）の資格を持つ個人が自主的に加入し運営する看護職能団体です。2019年4月に飯田橋から移転した新会館は、都営大江戸線西新宿五丁目駅から徒歩4分、都庁から徒歩10分の場所にあります。今回は新会館内の図書室を訪ねて、教育部図書係司書の勢田様にお話を伺いました。

メインの看護職の支援だけでなく 都民への情報提供などの役割も

——図書室含めてフロア全体がお洒落なカフェのような空間ですね。

まさにそういう狙いで、図書室の書架も床と同じ茶色、壁は白、曲線を描いた棚など、全体のデザインを統一しています。ゆったりとくつろいでいただけるようにというコンセプトです。図書室内で飲食はできませんが、隣接のラウンジには飲料の自動販売機があり、看護研修生の方が休憩したり、資料を閲覧したりしています。

図書室の窓際の椅子は一人で集中して考え事ができるようなデザインとなっており、目の前のテラスからは都庁も見えます。



——まさに東京を感じるロケーションですね。早速ですが、東京都看護協会について、教えてください。

東京都看護協会は個人の力だけでは解決できない看護を取り巻く課題を、組織の力で解決し、看護を発展させ、社会に貢献します。



現在東京都看護協会には約5万人の看護職が加入しています。

——書架を拝見しましたが、やはり看護系の資料が多いですね。

蔵書は看護系、それから医学系、そして一般書籍で、1万5千冊ちょっとになります。この新館に引っ越しした際、蔵書やインターネットなどさまざまな情報源を活用しながら、能動的に学習できるように設置されたスペースにレイアウトをリニューアルしました。





公益社団法人東京都看護協会 図書室

〒160-0023

東京都新宿区西新宿 4-2-19

TEL : 03-6300-5798 (直通)

<https://tna-library.opac.jp/opac/top>

——雑誌架もなかなかのボリュームですね。

雑誌は190タイトルあります。特定のトピックが見たいという要望も多く、この4月からはメディカルオンラインの契約を始めました。その他オンラインではメディカルファインダーなどを検討しています。

——主に利用されるのは看護職の皆さんでしょうか。

利用者の多くは東京都に在住在勤の看護職、看護学生などです。協会の会員数は5万人弱ですが、図書室の利用者は年間600人くらいです。貸出の対象は会員ですが、東京都以外に在住在勤の方も図書室の利用はできます。現在は、新型コロナウイルス感染症対策として連絡先を記入してもらうようにしています。

研修実施時は、研修会場にも図書室の資料を置いています。会員特典としてオンラインデータベースの利用ができるので、協会の会員になるきっかけが図書室だといったと思っています。

OPAC を図書室のサイトとして利用 最小限の手数で情報を全部見られるように

——2011年9月に情報館を導入されました。

検討の際、日本看護協会が情報館を導入していたのを参考にしました。導入後はとても便利に使っています。情報館はサポートが手厚く、聞きたいことがあるとすぐに聞けるので助かります。

——お問い合わせを活用していただけてよかったです。機能や使い勝手はどうでしょうか。

利用者が使うOPACが見やすく、使いやすくなりました。

図書室のサイトを情報館のOPACサービスで作成していますが、昨年10月、新バージョンに移行した際に、利用可能なデータベースへのリンクをトップページに掲載しました。目的のページまでのステップを最小限にしたことで、容易かつ迅速に操作できるようになり、ユーザーからも好評を得ています。

在宅勤務中も OPAC の管理者画面から サイトを編集し情報提供を継続

——4月から5月の緊急事態宣言の間はどうされていたのでしょうか。

2ヶ月間閉室しました。その間は、利用者向けのルール作成、それに伴う利用案内の更新、図書室のマニュアル作成、そして図書室サイトの英語ページの原稿を作ったりしていました。今のOPACになって管理者画面からトップページが編集できるようになったので、在宅でも作業ができました。





図書館 TOP ページ

また、情報収集として、日本医学図書館協会や日本看護図書館協会のメーリングリストに記載されたオープン情報、書店の特設ページ、またナースングチャンネルというビデオ有料ページがその期間は無料になっていたのも、例えば注射の方法の動画など、そういったものをサイトに掲載しました。

さらに、週1回、看護職向けのメールマガジンを配信しました。日々医療に従事する看護職を、資料を通して、教育・研究の面から支えるのが図書室の役割だと考えて仕事をしています。

図書室中央の展示スペースに、特集コーナーを設けてい



ます。現在は新型コロナウイルスに特化した「感染対策」をテーマに展示を行っています。貸出の多い資料を知り、利用実態を把握するために、貸出統計など情報館にお世話になりました。

——閉室されている間も色々発信されていたんですね。今後の予定や将来的な計画等はいかがでしょうか。

今後は電子化とデータベースの利用拡大を進めようとしていて、まずはデータベースの契約を増やし、それに伴う利用者教育として、文献検索のミニ講座の実施を予定しています。また、これまでは来館者へのサービスがメインでしたが、レファレンスなど、オンラインのサービスを拡大していきたいと考えています。

将来的には電子化が進んで、リンクリゾルバなど含めOPACで完結できるようになるといいなと思います。現在は図書館システムと電子図書館機能は別々のものですが、そのうち規格が統一されるといいですね。



——看護職の支援という使命を果たそうと活動されている図書室のお力になれるように、ブレインテックもご要望の実現など努めていきたいと思っています。ありがとうございました。

システム構成	基本システム1台 OPAC サービス（プレミアム版）（外部公開）
蔵書数	図書約1万5千冊、雑誌190タイトル、映像資料約500件
導入年	2011年

データは2020年10月現在のものです



図書管理システム

情報館 ver.9

中小規模の図書館に最適な
ベストセラー図書館システム

導入してからも、二人三脚で。

✓ メーカーの直接サポートだから迅速対応

開発元で、図書館システムの専門メーカーである(株)ブレインテックが直接サポートサービスを行うので、対応が迅速。
お問い合わせやトラブル発生連絡受付後の初動対応の迅速さは、多くのユーザー様からご評価いただいています。

✓ シンプルで安定したシステム

全国の中・小規模図書館で選ばれている「情報館」は、安定稼働にも定評があります。さらに、専用のバックアップツールが無くても簡単にデータのバックアップができ、万が一の復旧も容易で迅速です。

✓ データのインポート・エクスポートが自在

システムで管理しているほとんどすべてのデータ(資料データ、利用者データ、各種マスターデータ等)がアプリケーション上で自由にテキスト形式でインポート・エクスポートできます。
また、統計・帳票データのエクスポートも可能です。

✓ 時代に合わせたバージョンアップ

図書館システムの導入は、ゴールではなくスタートです。5年後、10年後も安心して快適にご利用いただけるように、新OSへの対応やユーザー様からの要望を取り入れたバージョンアップを定期的にご提供しています。



OPAC公開を手軽に、簡単に

✓ 選べるOPAC

情報館のOPACは、サーバー設置型とクラウド型からお選びいただけます。
ウェブアクセシビリティ対応、レスポンシブウェブデザイン(スマホ、タブレット表示)も好評。

✓ 小規模図書館でも安心

クラウド型なら、サーバー不要。
システム担当者が常駐していない小規模図書館様でも、安心してOPAC公開が可能です。

情報館オープンデーのご案内



オンラインでも開催中

毎月1回、「情報館」や「カーリルタッチ」などの最新の図書館システムの体験をすることができる展示会形式のイベントを開催しています
<https://braintech.co.jp/event/openday>



Zoom等を使用して個別相談・デモンストレーション承ります。
アクセスは
左記URLからお気軽にどうぞ。

ブレインテック・ライブラリー・レポート Vol.5

発行日／2020年11月1日

発行元／株式会社ブレインテック

〒141-0022 東京都品川区東五反田1-7-6 藤和東五反田ビル 3F

TEL.03-3449-7261 <https://braintech.co.jp/>